

浄化槽用ブロワ の省エネ対策

吐出圧力や風量調整のために、吐出側のバルブを閉じていませんか？

あるいは、安全弁から空気を逃がしていませんか？

バルブを閉じて圧力調整をすることは省エネに反します。

➡ 風量が多い場合は、ブロワの回転速度を下げるか、バイパスで余分な空気を逃がすようにしましょう。

正規の設計圧力で
運転されていますか？

水深+配管圧損等を考慮しても吐出圧力が高くなっている場合もあります。

➡ 正規の設計圧力で運転しましょう。

吸込フィルタの
清掃はしていますか？

フィルタの目詰まりも圧損となります。

➡ 定期的な清掃を行いましょう。

10年以上も前のブロワを
使用していませんか？

ブロワは改良されて、効率が向上しています。
(省エネルギー設計)

➡ アンレットエンドレス方式により、従来比10%以上の省エネを実現した高効率ブロワに交換をおすすめします。

1台のブロワで
曝気と返送汚泥に
同時に使用していませんか？

返送汚泥の場合は、圧力が高い場合が多いです。

➡ 同時使用をせず、用途に応じたブロワを使いましょう。

機械室の温度は適正ですか？

換気により室温を極力下げてください。
(40℃以下に)

➡ 圧縮熱が出ます。吸込空気温度は低い方が機械には有利です。

定期的な
メンテナンスをしていますか？

ブロワの正常運転のために重要なことです。

➡ 3ヶ月に1度、ギヤオイル交換・ベアリンググリス補給及びVベルトの張り・状況確認を行いましょう。

浄化槽用ブロワの見直しをしましょう!!

改正省エネ法が施行され、第1種・第2種エネルギー管理指定工場においては、エネルギー使用状況の定期報告が必要になりました。浄化槽用機器も例外ではありません。特に24時間連続運転する浄化槽用ブロワは、上記のことを考慮して最適に御使用ください。



株式会社

アンレット

2007年3月